

LESSON

1

Meeting People

自分のことを話す

LESSON 1

● 本課の内容

p.21 学習項目	文法：現在形
	機能表現：あいづちで関心を示す
	発音：/l/ と /r/ の発音
pp.22-23 文法	現在形
	A. 現在の状態を表す（現在形：状態動詞）
	B. いつもすることを表す（現在形：動作動詞）
	C. している最中のことを表す（現在進行形）
	D. これからの予定を表す（現在進行形・現在形：予定）
p.24 自己発信	自分のことを話す
	SHARE 自己紹介の文を考えて、グループになって、順番に自己紹介をする。
	WRITE いつもの行動について40語程度で表現する。
	LOGICAL THINKING 接続詞 and を使って、時間の流れにそって行動を伝える。

● ねらい・指導上の留意点

会話表現	放課後や週末にしていることについてのやりとりを取り上げ、動詞の現在形を使って表す表現を学習する。
文法	<p>現在形の、さまざまな用法を学習する。</p> <p>A. 現在形：状態動詞 動詞については、be 動詞と一般動詞の区別のほかに、一般動詞には「状態動詞」と「動作動詞」があることに触れる。</p> <p>B. 現在形：動作動詞 teach, run, eat, play, go などは中学1年生で最初に学習する動詞である。「現在形」という呼び方から、どうしても「現在形＝今していること」というように考える生徒が多いが、「動作動詞」を現在形で使うと「習慣的」に繰り返していることを表す、ということを理解させたい。</p> <p>C. 現在進行形 進行形についての学習ポイントは、①進行形の意味を理解すること、②動詞のing 形のつくり方を理解すること、③適切なbe 動詞を使うことの3段階だと言われている。学習直後はよいが、しばらくするとbe 動詞を落とす生徒が見られるので注意を促したい。</p> <p>D. 現在進行形・現在形：予定 進行形に近い未来を示すのは、時制についての例外的な用法であり、高校で初めて学習する項目になる。</p>
自己発信	自分のことについて英語で「話す（発表）」活動。新しい高校生活のスタートとなる最初のレッスンで、自分のことについて伝える自己紹介や、自分のいつもの行動を説明する活動を行う。

LESSON 1 Meeting People
自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday.
Andy: Really! You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.
Andy: Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.

FORMS 現在のことは現在形で表す
住んでいる所や持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日々の暮らしの中でいつもすることなどを表すときは、動詞の現在形を使います。
動詞の現在形が表すのは「今」という一時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。したがって、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返すようなことを表します。I play soccer. だけでなく、「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す
あいづちを打つことで、相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。Really! は、下がり口調なら「そうなんだ!」、Really? と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときは I see. や I understand. いい話だと思えば That's nice. よくない話なら That's too bad. のような表現を使います。

SOUNDS /l/ と /r/ の発音
/l/ は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/ は舌先をどこにもつけない舌全体をうしろに引いて発音します。
like, live, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK 会話の内容を確認し、Andy と Kenta にならなくなって会話をしてみよう!

Pick-Up 入っている部活動は、I'm in the soccer club. のように言えば簡単です。I belong to ... (私は〜に所属している) だと少し難しい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

TT: Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

各ページの指導上のねらい

Start-Up 自分のことを話す CD1-7

現在の状態やいつもすることは動詞の現在形で表す。肯定文でも疑問文でも、「いつ」「どこで」という情報を添えることによって話を具体的に明瞭なものにする。

あいづちを打ったり、相手のことばに対する反応を表現し、コミュニケーションを深める。

⇒ Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends. (アンディとケンタは教室で話しています。彼らは友だちになったところです)

- 1. What do you usually do after school, Kenta?** 「ケンタ、放課後はいつも何をしていますの?」
・いつも「ふだん」していることをたずねる場合は、動詞の現在形を用いる。
- 2. Me? I'm in the soccer club, so I play soccer every day except Monday.** 「僕? サッカー部に入ってるから、月曜以外は毎日サッカーをしてるよ。」
・「僕?」は I? ではなく Me? と言う。
・I'm in the soccer club. と同内容の表現には、I'm on the soccer team. / I'm a member of the soccer club[team]. / I belong to the soccer club[team]. などがある。
- 4. Really! You must be very busy!** 「そうなん

だ! すごく忙しいんだろうね!」
・この Really! はあいづちなので、下がり調子で読む。
・この must は「…にちがいない、きっと…だ」と「確信」を表しており、後ろには be 動詞や状態動詞がくることが多い。(LESSON 7 INTERACTIONS を参照)

- 4. But you're free on Mondays and weekends, right?** 「でも、月曜と週末は時間あるよね?」
・文末の right? は相手に確認するための表現。以下のように、付加疑問の文でも同様の意味を表すことができる。

㊦ But you're free on Mondays and weekends, aren't you?

- 6. Actually, I go to cram school every Monday.** 「実は、月曜は毎週、塾に通っているんだ」

・actually は相手の発言(月曜と週末は時間がある)をやんわりと否定するために使われている。
・go to cram school は「塾に通う」という意味で、cram school (塾)は無冠詞。この点は go to school や go to bed の school や bed と同様で、school は具体的な建物としての学校や塾ではなく、学習の場としての学校[塾]を表している(つまり、学校[塾]の役割や働きに焦点が当たっている)ため、無冠詞となる。

なお、cram は「詰め込み勉強」という意味で、cram school は日本の「塾」を指す。日本の教育事情を知らない英米人に a cram school と言っても通じない。アメリカには塾がほとんどなく、イギリスでもあまり多くないためである。

- 7. On weekends, we sometimes have soccer games.** 「週末にはときどきサッカーの試合をするんだ」
・動詞の現在形で習慣を表す場合、しばしば sometimes (ときどき)、often (しばしば)、once (in) a week (週に1度) など、頻度を表す副詞(句)を伴う。なお、本文の have は「持っている」という意味の状態動詞ではなく、「(試合など)を行う」という意味の動作動詞。
- 8. Wow! You don't have much free time.** 「うわー! あまり自由な時間がないだね」
・much は否定文で用いられると「あまり(〜ない)」という意味になる。
- 9. No, not much.** 「うん、そうなんだ」
・No, (I do) not (have) much (free time). (うん、自由な時間はあまりないんだ) を短縮した表現。
・「時間がないだね」という否定文(あるいは否定疑問文)に同意する(実際に時間がない)場合、日本語では「うん [はい]」と言うが、英語では同じく否定を表す No とする。Yes と応えると「時間がある」という意味になる。

㊦ A: Don't you like sashimi? (きみはお刺身が苦手なの?)

B: No, I don't. (うん、そうなんだ)

- 9. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.** 「週末に試合がないときは、友だちと遊びたいな」

・hang out with ... (…と遊ぶ、…といっしょにぶらぶらする) hang は「ぶら下がっている」が基本的な意味で、そこから「ぶらぶら [うろうろ] する」という意味が派生した。

文法上のポイントを適格に解説

FORMS 現在のことは現在形で表す

- ・現在形を用いて、現在の状態や習慣的に行っていることを表現する。また、現在進行形を用いて、している最中のことを表現する。
- ・「〜を愛している」「〜を知っている」「〜を信じている」といった心理的な状態や、「〜を持っている」「〜に住んでいる」のような現在の状態を表すときは動詞の現在形を用いる。
- ・現在形を用いた文は、現在の一時点で行っていることではなく、ふだん繰り返し行う習慣的な行動を表すことに注目させる。例えば、I play the flute. (私はフルートを吹きます) という文は、「私」が今、フルートを吹いているという意味ではなく、フルートを吹くのが趣味だ、あるいは、吹奏楽部でフルートを担当しているなどを理解させる。
- ・現在進行形は、現在している最中のこと、変化しつつあること、また、一時的な状態を表すときに使う。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

- ・あいづちは、相手のことばに反応し、相手の意見に対する関心を示したり、どのように捉えているかを表現したりする、会話の重要な要素だ。
- ・教科書で挙げた例のほかに、uh-huh (上がり調子で同意を表す)、uh-uh (下がり調子で否定を表す)、well (「おやまあ」驚き・非難、「ええと」ためらい、「やれやれ」安心、「それで?」発言を促す、など)、right (「その通り、わかりました」同意・承知、上がり調子で「いいですか」確認) などがよく使われる。
- ・あいづちは短いことばであるがゆえに、イントネーションや口調によって意味が変わってくる。相手の話や状況をきちんと理解したうえで適切に表現する必要がある。
- ・Really! は下がり調子で「そうなんだ!」と相手の話に興味をもっていることを示したり、「そうだね」と同意を表したりする(言い方によっては「あ、そう」と無関心さを示すこともある)。Really? 「本当に?」は上がり調子で驚きや疑念を表す。

㊦ A: Naoko speaks five languages. (ナオコは5か国

語を話すんだ)
B: Really? (本当に?)

SOUNDS /l/ と /r/ の発音

CD1-8

/l/ と /r/ の音は両方とも日本語では「ラリレロ」を表記されるが、英語では、/l/ は舌の先を上歯茎につけて発音し、/r/ は舌先を歯茎にはつけず舌全体を後ろに引いて発音する。

like や love などの /l/ は、舌の先をしっかりと上の歯茎につけて、特に第一アクセントの場合は音のはじめを強めに発音する。usually や actually など、第一アクセントではない場合は、舌の先を上歯茎につける力をそれほど強くしないでよい。

/r/ の音は、舌先をどこにもつけないため、音はあいまいに聞こえる。日本語を話す際は、無意識に舌を動かしていることがほとんどなので /l/ の音と交互に練習するなど、舌の位置をしっかりと意識させて発音練習をするとよいだろう。

TALK

会話は基本的に疑問とそれに対する応答から成り立っている。だが、形のうえでは疑問ではない発言が疑問の意味をもち、それに対して相手が応答する場合もある。要するに相手のことばをよく聞いて理解したうえで、自分なりのことばで応答することが肝心である。

会話の練習をする際には、自分がアンディあるいはケンタになったつもりで話すように指導したい。

Pick-Up

I'm in the soccer club. (僕はサッカー部に入っています)

上の文は I'm on the soccer team. と表現することもできる。club の場合は前置詞に in を使い、team の場合は on ((英)では in) を使う点に注意。

TT (Tongue Twister)

CD1-9

Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life. (ロビンとロバートはロックフォードに住んでいて、実に活気ある生活を送っている)

・r で始まる単語と、l で始まる、または l の音を含む単語が多く含まれている文。舌の先の位置がめまぐるしく変わるので、そこに注意して発音練習する。Robin, Robert, Rockford は Ro の韻を踏んでいるので、力強

Tongue Twister の発音ポイントを解説

INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

A 現在の状態を表す (現在形：状態動詞)

① I like cats very much.
② My uncle has two cars.

④-GUIDE

①「～が好きだ」「～だと思う」のように現在の心理的な状態を表すときは、動詞の現在形を使う。
②「～を持っている」「～に住んでいる」のように現在の状態を表すときも、動詞の現在形を使う。

TASK ⑤与えられた動詞を使って、自分や身近な人に関する3つの文を書いてみよう(同じ動詞を2度使わないこと)。それぞれの文には、情報を1つずつ加えよう。
[believe / know / like / love / remember / need / want / have / live / resemble]
⑥ I love rock music. I'm in a band.
My brother **doesn't like** vegetables. He especially hates celery.

TASK ⑦自分が書いたことを話してみよう。

B いつもすることを表す (現在形：動作動詞)

① I **usually** get to school at 8:30.
② My mother teaches biology at a high school.

④-GUIDE

③繰り返し起こることや習慣になっていることを表すときは、動詞の現在形を使う。**usually**のような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
④職業や習性、話す言語などを表すときも、動詞の現在形を使う。

TASK ⑧自分や身近な人がいつもすることについて会話をしてみよう。
A: What do you do in your free time?
B: I usually read books. I like Murakami Haruki.
A: Really? I like Murakami, too.
B: Wow! That's great!

④-GUIDE

相手の発言内容に対して感じたことをあいついで表現しよう。
- I see. - I think so, too. - I can't believe it! - Really? - No way!
- That's nice/good/great/wonderful/fantastic!. - That's too bad. - Is that true? - Yes, indeed.
- You're kidding! - Are you serious?

V OCABULARY

• wake up	• set one's hair	• water the plants	• go to the library
• wash one's face	• have breakfast	• leave for school	• go to cram school
• take a shower	• have (drink) coffee	• talk with friends	• do club activities
• brush one's teeth	• get dressed	• use a computer	• do one's homework

C している最中のことを表す (現在進行形)

① I'm writing an essay for my English class.
② I think my cat is getting fat.

④-GUIDE

③している最中のことを表すときは、現在進行形 (am/are/is+動詞のing形) を使う。
④変化している途中のことや一時的な状態を表すときも、現在進行形を使う。

TASK ⑨写真に写っている人を指差しながら、その人(たち)がしていることを英語で表そう。

D これからの予定を表す (現在進行形・現在形：予定)

① My grandmother is visiting us **tomorrow**.
② My brother graduates from college **this month**.

④-GUIDE

③これからしようとしている個人的な予定を表すときに、現在進行形を使うことができる。
④現在形を使って、確定している予定を表すこともある。

TASK ⑩放課後、または週末の予定について会話をしてみよう。
A: What are you doing after class today [this weekend]?
B: I'm going to a concert with my sister. I'm really looking forward to it.

TASK ⑪確定している予定を書いてみよう。
⑫ The midterm exams start on May 20.

Self-Check (できることに✓を入れよう)
 ① 現在の状態を表すことができる。
 ② いつもすることを表すことができる。
 ③ している最中のことを表すことができる。
 ④ これからの予定を現在(進行)形で表すことができる。

INTERACTIONS

自分自身のことや身近な人のことを話す CD1-10~23

- 自分や身近な人について、現在の状態やいつもすることを表現する。
- 自分や身近な人がしている最中のこと、これからしようとしていることを表現する。

例文訳

- ① 私は猫がとても好きです。
- ② 私の叔父は自動車を2台持っています。
- ③ 私はふだん8時30分に学校に着きます。
- ④ 私の母は高校で生物を教えています。
- ⑤ 私は英語の授業のために作文を書いているところです。
- ⑥ 私の猫は太ってきていると思います。
- ⑦ 私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。
- ⑧ 私の兄は今年大学を卒業します。

A 現在の状態を表す (現在形：状態動詞)

① **心理的な状態を表す動詞**
like は1回の動作ではなく、何かが好きだという現在の心の中の状態が一定期間続いていることを表す状態動詞。心理的な状態を表す動詞には like のほかに、love (愛している)、hate (嫌っている)、know (知っている)、think (思っている)、believe (信じている)、want (欲している)、hope (望んでいる)、understand (理解している)、forget (忘れている)、remember (覚え

ている) などがある。

② **一般的な状態を表す動詞**

live (住んでいる) や have (持っている) などの状態動詞も現在形で使うと、現在を中心として一定期間継続する状態を表す。状態動詞は一般に進行形にはしないが、一時的な状態や変化しつつある状況を表すときは、下記の一冊目の例のように状態動詞を進行形として使うことがある。下記の2冊目の例の resemble は現在形でも「似ています」という和訳になるが、(be 動詞 + resembling) はあくまでも「～(人・生物) に似てきている、～(人・生物) 似になってきている」という意味を表すときだけ進行形を用い、ふつうに「～に似ています」というときは resemble と現在形を用いることをしっかり理解させたい。

㉔ My daughter **is living** in an apartment now. (娘は今、アパートに住んでいます) → アパート住まいは一時的なこと

㉕ Linda's **resembling** her mother more and more. (リンダはますます母親似になってきている) (コンパスローズ) → 「似てきている」という進行中の変化を表している

TASK 教科書掲載解答例訳

私はロック音楽が大好きです。私はバンドに所属しています。
私の兄[弟]は野菜が好きではありません。特にセロ

TASK の解答例を豊富に掲載

解答例 1
I don't believe in Santa Claus. But my sister does. (私はサンタクロースの存在を信じていません。しかし、妹は信じています)

解答例 2
Eri knows a lot about animals. She tells me a lot of interesting stories about them. (エリは動物についてよく知っています。彼女は私に動物についてのいろいろなおもしろい話をしてくれます)

解答例 3
I live in the suburbs of Tokyo. I often take a walk in the natural park near my house. (私は東京の郊外に住んでいます。よく家の近くの自然公園を散歩します)

POINT 1 の believe は状態動詞で「信じている」という意味。訳を見ると進行形のように感じる生徒もいるかもしれないが、現在形で表された現在の状態を訳すと「～している」となる。最後の does は believes の代わりに使われている代動詞。2 の know (知っている) も状態動詞。a lot は動詞の後ろで副詞的に用いられて「大いに、よく」という意味を表す。3 では、live (住んでいる) が状態動詞。in the suburbs of... で「…の郊外に」の意味となる。

書いたことを話すときの注意点としては、he や she や個人名などの3人称の主語の場合には、動詞に3単現のsをつけることを忘れないようにする、そして否定文の場合は、don't ではなく doesn't を使うことを確実に押さえておきたい。

B いつもすることを表す (現在形：動作動詞)

③ **習慣的な動作を表す動作動詞**

繰り返しかつことや習慣となっていることは動作動詞の現在形を使って表す。その場合、頻度を表す副詞を伴うことが多い。頻度の高い順に、次のような副詞がある。
always (いつも) → usually / normally / generally (ふだん) → often / frequently / regularly (たびたび) → sometimes (ときどき) → rarely / seldom (めったに～ない) → never (決して～ない)

④ **職業や習性、話す言語などを表す**

「(職業として)～している」や「(言語)を話す」も「ふだんしていること」なので、動詞の現在形で表す。職業をたずねる場合には、最後に for a living (生計を立てるために) という語句を加えると「職業」について聞いていることが相手にはっきり伝わる。

㉔ What **does she do** for a living? (彼女の職業は何ですか) → 直訳すると「彼女は生計を立てるために何をしますか」

㉕ People in Canada **speak** English and French. (カナダの人々は英語やフランス語を話します)

TASK

教科書掲載解答例訳

A: 自由な時間には何ををするの?
B: 僕はたいてい、読書をしているよ。村上春樹が好きなんだ。

A: ほんとに? 私も村上が好きなよ。
B: へえー! そりゃいいね!

会話例 1

A: What do you do on weekends? (週末には何ををするの?)
B: I often go to the museum to see Japanese art. (私はよく日本の美術作品を見るために美術館に行くわ)

A: Sounds interesting! Who is your favorite artist? (おもしろそうだね! きみの一番好きな芸術家はだれなの?)
B: Katsushika Hokusai. I love his paintings! (葛飾北斎よ。私は彼の絵が大好きなの!)

会話例 2

A: What do you do in your free time? (自由な時間には何ををするの?)
B: I sometimes go to a cafe near my house and relax. (僕はときどき、家の近所の喫茶店に行つてつろぐんだ)

A: Really! Can I go with you next time? (そうなんだ! 今度、私も行っていい?)
B: Of course, you can! (もちろん、いいよ!)

POINT (What do you do + 現在以降のある一時点 [一定期間] を表す語句?) のような場合でも、現在形を使うことに注目させたい。放課後や帰宅後、週末などにいつも行っていることを英語で聞いたり答えたりすることで、生徒同士がコミュニケーションを深めることができる。解答例にもあるように、会話の間に、Really! (そうなんだ!) や Sounds interesting! (おもしろそうだね!) などのあいづちを挟むようにすると会話の自然な流れができる。日本語では気恥ずかしくて言えないありふれた日常のことを、英語ではかえって素直に表現できるかもしれない。このように実際に起こっている出来事について率直に英語で話し合う機会をつくることによって、生徒が英語をもっと話したいという気持ちになるよう指導したい。

授業で役に立つ指導上のアイデアを紹介

④-GUIDE
あいづちは、相手の話に対する自然な反応であるべきで、無理に入れるものではないことに留意したい。あいづちには、相手への同意 (I think so, too. / Yes, indeed.), 否定 (No way!), 同情 (That's too bad.), 疑問・確認 (Is that true? / Are you serious?) などがある。

㉔ A: Can you lend me your smartphone for a day, Ann? (きみのスマートフォンを1日貸してくれないかな、アン?)
B: No way! A smartphone is not something you

lend to someone. (とんでもない! スマートフォンは、だれかに貸すものじゃないわ)

例 A: I couldn't buy tickets for the concert because they were all sold out. (コンサートのチケットは、全部売り切れてしまって買えなかったよ)

B: That's too bad. I hope you can get them next time. (それは残念。次は買えるといいね)

- ・ I see. (なるほど)
- ・ I think so, too. (私もそう思います)
- ・ I can't believe it! (信じられない!)
- ・ Really? (本当に?)
- ・ No way! (とんでもない!)
- ・ That's nice [good / great / wonderful / fantastic]. (それはすてきだね [いいね/すごいね/すばらしいね/見事だね])
- ・ That's too bad. (それは残念 [お気の毒に])
- ・ Is that true? (それって本当なの?)
- ・ Yes, indeed. (まったくそのとおりです)
- ・ You're kidding! (まさか!)
- ・ Are you serious? (本当に? [本気なの?])

TASK  

◇音声スクリプト

1. I take care of sick people in the hospital. I help doctors. (私は病院で病気の人たちの世話をします。医師を手伝います)
2. I write stories about different things. People read my stories in the newspaper. (私はさまざまなことについて記事を書きます。人々は私の記事を新聞で読みます)
3. I grow different kinds of vegetables. I sell them in the market. (私はさまざまな種類の野菜を栽培します。私は市場でその野菜を売ります)

解答

1. a nurse (看護師)
2. a journalist (ジャーナリスト)
3. a farmer (農場経営者)

POINT リスニング問題ではどのような内容になるか、ある程度予想をしてから音声聞く習慣をつけさせたい。この **TASK** では職業の説明を聞くので、仕事の内容や関わる人々、生活スタイルなどが話されることが予想される。聞いた説明の書きとりが終わったら、ペアワークに切り替え、書きとった職業の説明を1人が読み、そのあとに“Who am I?”(私はだれでしょう?)などと問いかけて、もう1人が“You are a...”(あなたは… (=職業名)です)と答える、という対話の練習に発展させてもよい。

発展活動

職業として行っていることを具体的に説明する文をつくる。英文ができたならペアになり、自分の英文を読み、相手に書きとりをしてもらおう。英文をつくらせる前に生

徒に伝える注意点としては、動詞は現在形を使うこと、主語はとりあえず I にして書いてみることで、何の職業について説明しているかがだれにでもわかるように簡潔にわかりやすく書くこと、などが挙げられる。生徒が職業を説明する文をつくる際に、日本語ではわかるが、英語でどう表現するのかわからない場合は、たとえば、職業を表す英単語を英英辞典で引かせ、その英英辞典の説明文を参考にして自分の説明文をつくらせる、といった方法をとってもよいだろう。また、職業の説明をする生徒は、ゆっくり、しっかりとした発音で話すことが重要である。

C している最中のことを表す (現在進行形)

⑤今現在している最中のこと
「(今) ~しているところだ」と現在進行中の動作を表すには現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。

例 I have breakfast every morning. (私は毎朝朝食をとります) →現在形: 習慣的な動作

例 I'm having breakfast now. (今、私は朝食をとっているところです) →現在進行形: している最中。ここでの have は「~を食べる」という意味の動作動詞

⑥変化している途中のことや一時的な状態
現在進行形は「~しつつある」(変化している途中) や一時的な状態も表す。変化を表す場合、しばしば「~になる」という意味の get, become, grow が用いられる。

例 Violent crime is becoming a major problem. (LDOCE) (凶悪犯罪が大きな問題になってきています)

また、be 動詞を使って表す状態が一時的なものである場合、be 動詞を進行形にして、be being という形で表す。このほか、現在進行形は always (いつも), constantly (しょっちゅう), continually (頻繁に) のように頻度が高いことを表す副詞とともに用いられて「~してばかりいる」と繰り返されることを強調することもあり、しばしば話者の不満や苛立ちなどの感情が込められる。

例 He's always complaining about his job. (彼はいつも仕事の文句を言っています)

TASK 

解答例

- ・ He is using a computer. [They are using computers.] (彼(ら)はコンピューターを使っています)
- ・ They are talking over coffee. (彼らはコーヒーを飲みながら話をしています)
- ・ He is explaining a job to her. (彼は彼女に仕事を説明しています)

POINT 写真に写っている人が写真の中で今現在していることを英語で表すので、現在進行形を用いることが必須である。何も示唆しなくても生徒が現在進行形を用いて話すことができればそれが最善であるが、現在形や

未来を表す表現などを使ってしまった場合は、現在進行形を使うよう促したい。気がついたことはなんでも積極的に表現してもらおう。行動について、わかりにくい点は想像で補ってもかまわない。ヒントとして使う動詞を示すのもよいだろう。また、解答例にもある通り、主語を they のような複数の人物にして、その人たちが何をしているかを表してもよい。さらに、Some people are standing, and others are sitting. (立っている人もいれば、座っている人もいます) などのように写真に写っている人々全体について表現してもよい。

D これからの予定を表す (現在進行形・現在形: 予定)

⑦これからしようとしている予定
現在進行形で、これからしようとしている予定を表すことができる。すでにやることが決まっていて、心構え、準備、手配が進行中というニュアンス(天候など、あらかじめ計画できないことには使わない)。個人的ないし私的な予定を表すのによく使われる。多くの場合、tomorrow や next week など、時を表す副詞(句)を伴う。

例 We've bought a new house and are moving in very soon. (私たちは新しい家を買ってあって、近いうちに引っ越していく予定です) (英文法解説)

⑧確定している予定
変更の可能性がほとんどない確定している予定を現在形で表すことができる。団体などの公的な予定を表すのに使われることが多い。

例 The professional baseball season begins next month. (プロ野球のシーズンは来月始まります) 時刻表やカレンダーなどで決まっていることも現在形で表す。

例 Next Christmas falls on a Tuesday. (次のクリスマスは火曜日にあたります) (英文法解説)

文法のポイントをコンパクトに紹介

TASK 

教科書掲載解答例訳

A: 今日の放課後 [今週末] は何をするの?
B: 姉 [妹] といっしょにコンサートに行く予定なの。本当に楽しみだわ。

会話例 1

A: What are you doing this weekend? (きみは今週末は何をするの?)
B: I'm going on a picnic with my friends. There is a nice park near the station. (友だちといっしょにピクニックへ行く予定よ。駅の近くにすてきな公園があるの)

会話例 2

A: What are you doing after class today? (今日の放課後は何をするの?)
B: I'm visiting my grandparents. They always look happy when they see me. (祖父母を訪ねる予定だよ。祖父母は僕に会うと、いつも幸せそうに見えるん

だ)
POINT 放課後や週末の予定について質問し、それに答える。個人的な予定なので現在進行形や (be going to ...) の形を用いる点に留意したい。教科書掲載の解答例や上記の2つの会話例のように、現在以降のいつについて相手の予定を聞きたいのかを表現させることも大切である。具体的な予定なので、さしさわりがなければ、実際に行おうとしている予定を話すのがよい。予定を答える場合は、ただ単に「~する予定です」だけではなく、会話例1の最終文、There is a nice park near the station. や会話例2の最終文、They always look happy when they see me. のような、ちょっとした情報やコメントを加えておくと、会話が楽しくなるだろう。

TASK 

教科書掲載解答例訳

中間テストは5月20日に始まります。

解答例

- ・ Summer vacation starts the day after tomorrow. (夏休みはあさってから始まります)
- ・ The train leaves the station at 16:28. (その電車は16時28分に駅を出発します)

POINT 確定している予定を現在形で表す。どちらかという個人よりも団体や公式の予定を表す場合に現在形を用いることに注意したい。教科書の例文⑧のように個人の予定であっても、正式な、あるいは公式な予定の場合は現在形を用いる。

V VOCABULARY

- wake up (起きる) wash one's face (顔を洗う)
- take a shower (シャワーを浴びる) brush one's teeth (歯を磨く) set one's hair (髪をセットする) have breakfast (朝食をとる) have [drink] coffee (コーヒーを飲む) get dressed (着替える) water the plants (植物に水をやる) leave for school (学校に出かける) talk with friends (友だちと話す) use a computer (コンピューターを使う) go to the library (図書館に行く) go to cram school (塾に行く) do club activities (部活動をする) do one's homework (宿題をする) have dinner (夕食をとる) watch a video (動画を見る) play the guitar (ギターを弾く) play video games (テレビ [コンピューター] ゲームをする) take a bath (風呂に入る) come from (~出身である) be a graduate of (~の卒業生である) be good at (~が上手である)

ACTIVE LEARNING
Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

①自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I'm a graduate of Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

②上の例を参考に、自己紹介の文を考えて、メモにまとめよう。
 自分の好きなことや性格、これからの目標などを入れてみよう。

③グループになって、順番に自己紹介をしよう。

・Hello, everyone! で始め、最後に Thank you for listening. Do you have any questions? とたずねよう。
 ・聞き手は発表者に質問を1つしよう。
 ⇒質問を考えながら聞くことで、相手の話をよりアクティブに聞くことになります。
 □How long have you played soccer? / Do you like any other sports?

Self-Check
 自分のことについて伝えることができた。□□□
 聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。□□□
 □よくできた。□まあまあできた。□あまりできなかった。

WRITE いつもの行動を書こう

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう。

I () up at seven in the morning. After I wash my face and get dressed, I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at eight and get to school by eight-thirty. [have / leave / get]

②自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を40語程度で書いてみよう。
 接続詞 and を使って、時間の流れにそって行動を説明しよう。

Self-Check
 いつもの行動について、40語程度で表現することができた。□□□
 時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。□□□
 □よくできた。□まあまあできた。□あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

「朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞 and を使って文をつなぐと不要な繰り返しが減ります。I wash my face and get dressed. では and のあとに I を入れる必要はありません。

ACTIVE LEARNING 自己紹介 CD1-24~28

□動詞の現在形を用いて、みんなの前で自己紹介をする。趣味や性格などを紹介することによって自分をみんなに知ってもらおうことが目的である。

□40語程度で、日常の決まった行動を書く。

SHARE 自己紹介をしよう

自分自身についてクラスメートに紹介する。紹介する内容は、自分の名前、出身中学校名、所属している部活、好きなことや趣味、今取り組んでいること、自分の性格、これからの目標など。出会って間もないクラスメートたちに自分を少しでも知ってもらいたいという気持ちで自己紹介をすることが大切である。

訳

私は本田健太です。東中学校出身です。サッカーが大好きです。サッカー部に所属していて、毎日練習しています。性格は社交的だと思います。この学校でたくさんの友だちができればいいと思います。

語句

graduate (卒業生) ここでは名詞として使われている。「～(学校)の卒業生」は of または from で表す。

outgoing (☺社交的な)

指導上のポイント

まず最初にキーワードは何か、聞き手に伝えたいこと

は何かを考えながら読ませてみよう。そして、Honda Kenta, Higashi Junior High School, soccer, outgoing, make a lot of friends などがキーワードになることを理解させたいので、それらの語句を強調しながら音読させる。こうしてキーワードを意識しながら抑揚をつけることで、聞き手にとって印象に残る自己紹介になる。

指導上のポイントや方法を具体的に提示

② **指導上のポイント**

原稿を作成する方法は、大別して2種類考えられる。1つは、発表する内容をすべて文字化する方法であり、もう1つは、ポイントとなる情報のみをメモするという方法である。

前者を採用する場合、指導者は文法・語法の誤りを指摘し、正しい英文へと導く必要がある。生徒はある程度自信をもって発表に臨むことができるというメリットはあるが、原稿を丸暗記しがちで自然な感情表現が困難になったり、原稿に頼りきって少しつまづいただけで立て直せなくなるというデメリットも考えられる。

一方、後者を採用した場合、スピーチの全体像を自分の頭の中に定着させたいので、キーワードのみを書いたメモを見ながら発表するので、より自然な発表になりうるというメリットはあるが、生徒のレベルによっては負荷がかかりモチベーションが下がるというデメリットも考えられる。

この2つの方法のそれぞれのメリット、デメリットを十分に理解したうえで一方を選ばせる、あるいは時間が許せば両方のスタイルを体験させてみるのもよいだろう。

SHARE ワークシート

Hello, everyone!

- 自己紹介 (I'm)
- 出身校 (I'm a graduate of)
- 好きなもの・こと (I like)
- 将来への期待 (I hope)

Thank you for listening.
 Do you have any questions?

SHAREの活動を助けるワークシートの紹介

※本書 p.18 に SHARE ワークシート見本掲載

ワークシート記入例

SHARE ワークシート

Hello, everyone!

- 自己紹介 (I'm)
I'm Koga Sachiyo.
- 出身校 (I'm a graduate of)
I'm a graduate of Minami Junior High School.
- 好きなもの・こと (I like)
I like Japanese pop music very much. I sometimes write songs.
- 将来への期待 (I hope)
I hope I'll be a singer-song writer in the future.

Thank you for listening.
 Do you have any questions?

発表例

Hello, everyone! I'm Koga Sachiyo. I'm a graduate of Minami Junior High School. I like Japanese pop music very much and I sometimes write songs in my free time. I hope to be a singer-song writer in the future. Thank you for listening. Do you have any questions? (こんにちは、みなさん！私は古賀幸代です。南中学校出身です。私は日本のポップミュージックが大好きで、ときどき自由時間に曲を書くこともあります。将来はシンガーソングライターになりたいと思っています。聞いてくれてありがとうございます。何か質問はありますか)

質疑応答例 1

Student 1: Do you play any musical instruments? (何か楽器を演奏しますか?)

Koga: Yes. I play the guitar and piano. (はい。私はギターとピアノを弾きます)

Student 1: Wow, that's great! (わあ、それはすごいですね！)

質疑応答例 2

Student 2: Why do you like Japanese pop music? (なぜ、日本のポップミュージックが好きなのですか)

Koga: Because I like up-tempo songs. There are a lot of up-tempo songs in Japanese pop music. (アップテンポな曲が好きだからです。日本のポップミュージックにはアップテンポな曲がたくさんあります)

Student 2: I see. (なるほど)

SHAREに用いる表現

- ・I'm crazy about [I'm into] (…に夢中だ)
- ・I'm a member of the ... club. (…部に入っている)
- ・I'm mild (温厚な) / frank (率直な) / curious (好

SHAREに用いる表現

- ・I'm crazy about [I'm into] (…に夢中だ)
- ・I'm a member of the ... club. (…部に入っている)
- ・I'm mild (温厚な) / frank (率直な) / curious (好

奇心旺盛な) / humble (控えめな) / patient (我慢強い)

- ・get along with ... (…と仲よくやっていく)
- ・make friends with ... (…と友だちに[親しく]なる)

③ **指導上のポイント**

Hello, everyone! でスピーチを始め、Thank you for listening. で締めくくり、さらに Do you have any questions? と聞き手からの質問を受け付けるという、一連の流れにそってスムーズにスピーチを展開できるようにすることが目標のひとつ。また、聞き手も必ず質問することにすれば、質問するためにより集中して自己紹介を聞くことになる。加えて、質問をすることでコミュニケーションが深まり、いっそう話題が広がる。このように自分の関心に基づいて即興的に発話することこそ会話の基礎となり、さらなる自己表現やコミュニケーションに対する意欲を高め、主体的な活動へと発展する。質疑応答に際しては、Thank you for your impressive introduction. のように発表者を讃えたり、Actually, I like soccer, too. のように共感を示すことばを添えたりして、キャッチボールをする interaction の姿勢を養うことも大切。また、アイコンタクトや表情、身振りなども(聞き手にとっても)重要なコミュニケーション手段であることにも注意を促したい。単に原稿を読むだけでは作文の延長線上にとどまってしまう、グループをつくる意味がなくなる。

WRITE いつもの行動を書こう

動詞の現在形を使い、時間の流れにそって日常の決まった行動を書く。これは自分を理解してもらったり、会話へと発展させたりする契機になりうる。

① **解答**

I (**get**) up at seven in the morning. After I wash my face and get dressed, I always (**have**) a traditional Japanese breakfast with my family. I (**leave**) home at eight and get to school by eight-thirty.

訳

私は朝7時に起床します。顔を洗って服を着替えたら、いつも家族といっしょに和食の朝ご飯を食べます。8時に家を出て、8時30分までには学校に着きます。

語句

get dressed (服を着る, 着替える) dressed は動詞 dress (～に服を着せる) の過去分詞が形容詞化したもので「服を着せられた」→「服を着た」という意味。get は「(変化してある状態)になる」。

get to ... (…に到着する)

by ... (…までに) 後ろに時を表す語句を伴って「期限」を表す前置詞。同じ「…まで」と訳される前置詞でも

「継続」を表す **until** とは意味が異なる点にも注意。

解説

まず朝、何時に起きるかを述べ、それから学校に到着するまでの行動をひとつひとつ説明している。いつもすることは **always** (いつも) を使って表現している。**always** のほかにも、状況に応じて **usually** (ふつうは)、**often** (よく)、**sometimes** (ときどき)、**never** (決して～ない) などの頻度を表す語も使えるように指導したい。決まった時刻に行くことは、**at seven** や **at eight** のように具体的に表現している。また、**after** (～のあと) や **before** (～の前に) など、時間の前後関係を明確に示すことばを使うことも有効である。教科書の解答では第2文で **After** を使っている。

- ・1つ目の () は直後に **up** があることから、**get** を入れて **get up** (起きる) とすれば意味が通る。
- ・直後の **a traditional Japanese breakfast** が目的語なので、2つ目の () は **have** (～を食べる) が適切。
- ・朝の行動であり、また、文の後半が「学校に着く」であることから、3つ目の () は **leave home** (家を出る) とする。解答には出てこないが、**leave** は (leave for + 場所) の形にすると「～(場所) に向かって出発する」の意味を表す。

②

指導上のポイント

毎朝の行動を書く際の指導上のポイントは①で述べたが、帰宅後の行動も毎朝の行動を書く場合と要領は同じである。帰宅後も、次々と異なる行動をするので、**and** (そして) や **then** (それから) などの接続詞を使って行動の順序をわかりやすく伝える文をつくらせたい。まず、朝ないし帰宅後の行動を時間の流れにそって英語の語句で列挙させ、それに肉付けして文にし、さらに適宜接続詞などを使って文章として自然な流れになるように整えさせたい。

ポイントは動詞はすべて現在形を用いることである。**after** や **before** は前置詞として、〈**after** + 名詞(句)〉で「名詞(句)のあとに」、〈**before** + 名詞(句)〉で「名詞(句)の前に」の意味を表すが、接続詞としては〈**after** + 主語 + 動詞〉で「主語が～してから」、〈**before** + 主語 + 動詞〉で「主語が～する前に」という意味になるので、適宜、前置詞と接続詞の用法を使い分けるよう指導したい。

WRITE ワークシート

まず、毎朝の行動や帰宅後の行動を、時間の流れにそって書き出してみよう。

㊦ **get home** → **wash my hands** → **do my homework** → **have dinner** → **take a bath** → **watch TV** → **go to bed**

作文例

帰宅後の行動 (evening routine)

I usually get home at six. After I wash my hands, I do my homework in my room. I have

dinner with my family at seven and take a bath at eight. And then I watch TV before I go to bed at eleven. (44 words) (私はたいてい6時に帰宅します。手を洗ってから自分の部屋で宿題をします。7時に家族と夕食をとり、8時にお風呂に入ります。それからテレビを見て、11時に寝ます)

解説

作文例では、時刻を表す **at** (～時に)、頻度を表す **usually** (たいてい)、行動の前後を表す **after** (～が…してから) や **before** (～が…する前に)、そして順序を表す **and then** (それから) などの語句を適切に用いて、毎日の帰宅後の行動を時間の流れにそってわかりやすく説明している。動詞はすべて現在形を用いる。

WRITE に用いる表現

- ・ **get home** (帰宅する)
- ・ **take a bath** (風呂に入る)
- ・ **go to bed** (寝る)

LOGICAL THINKING

いつもの行動を伝えるには、時間の流れにそって話したり書いたりするのが常道。ただしそれは、必ずしも「何時何分」と明確な時刻を記すということではなく、順を追って行動を並べていくということだ。その際、それぞれの行動を1文で表し、それを羅列するだけではいかにも稚拙な印象を与えるので、**and**、**after**、**before** など、時間的な前後関係を表す接続詞を効果的に使うように伝えたい。また、これらの接続詞を使った場合、同じ語句の繰り返しを避けることもできる。例えば **and** の場合は、教科書にもあるように後半の主語などを省略でき、作文例の中でも **I have dinner with my family at seven and (I) take a bath at eight.** と使っている。**after** や **before** には前置詞の用法もあるので、**After washing my hands** のような形を使えば、より洗練された文になる。

WRITE の活動を助けるワークシートの紹介

※本書 p.19 に WRITE ワークシート見本掲載